


こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2009・12・1 No. 212 発行 / (こどもの城) 広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
http://www.kodomonono-shiro.jp

まっしろな シロクマ



つめたいこおりのうえで、シロクマが「ほくは どうして まっしろなんだろ？」とおもいました。まわりをみると、いきも くもも、どれもまっしろでした。シロクマは、もしかして、ほくは、いきか、ゆきか、くもで、できているんじゃないかな、とおもいました。

そこで、いきになろうとして、ハハハ、いきをはきました。ぐるぐる回ってやめました。つぎに、ゆきになろうとして、ペタンとゆきのうえに、ねそへってみました。つめたくなってやめました。やっと、くもになれそう。フワフワ、フワフワ、くもになるれんしゅうをして、フワフワ、フワフワ、とぶようにいえへかえると、おかあさんも、おとうさんも、おにいちゃんも、いもうとも、みんなまっしろで、シロクマだったので、くもになるのもやめました。

（ぶん・うえき まさのぶ・え・い・かき けいこ）

“昔遊び(伝承遊び)”は

冬休み はじめてGo! Go! こどもの城 — 12月26日～1月7日(こどもの城)の冬休み特別期間。今年は、8日の休館日をはさんで9～11日も“冬休みプログラム”が続きます。

冬休みプログラム「2010新春あそびのお年玉〜クルッとまわしてめでタイガー」(1月3～7、9～11日/プレイホール)では、こま、カルタ、お手玉などの“昔遊び(伝承遊び)”で遊びます。お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんが子どもたちにも遊んでいた遊びです。時代を超えて楽しませている“昔遊び(伝承遊び)”のおもしろさを探ります。

おもしろい!?

“こまを回せた” — その喜びが自信に

いろいろな形のこまがありますが、「投げこま」を取り上げて、こま回しという遊びをみてみます。

「投げこま」は、ひもを巻いて回します。ひもの巻き方にもちょっとしたコツが必要です。小さい子などは、大人に巻いてもらうのも一つの方法です。こまを回せる、という喜びをまずは感じてほしいからです。ほうり投げたこまが、足元でクルクルと回るだけで、うれしくなります。自分の力で回せたということが、自信になります。

こまを回せる仲間がまわりにはれば、だれのこまがいちばん長い間回っているか、競争したくなります(“長回し”)。より長い時間回るように、ひもの巻き方や投げ方も工夫するようになります。

空きかんの底の上で回す—回す場所の“正確さ”をきそう遊び方を思いつかうかもしれません。[こどもの城]では、合板の上にひもで仕切りをして、仕切った場所の位置や大きさによって点数をつけた「こまどこ(こま回し用の板)」を何種類か作っています。

こまをうまく回せるようになると、“手合せ”や“つなわり”など、こまを自在にあつかつて「わざ」にチャレンジする遊びもできるようになります。

投げたこまを引きもどして手のひらでキャッチする“つばめがえし”。さらに、ひもを伝わせて、反対の手のひらに移動させる“つなわり”など、創意工夫にとんだ「わざ」ができるようになります。

一個のこまと一本のひも—ひもを巻いて、こまを回すというシンプルな遊びですが、こまが回れば、だれもが手軽に遊べる遊び方があるだけでなく、こま回しの「わざ」を考えるなど“遊び”をみかいていく楽しみ方もあります。指先から頭まで、体全体を使って、つぎつぎに新しい遊び方にチャレンジできます。



遊び方がわかりやすい

一つは、遊び方がわかりやすいということ。こまを回す、三つ馬にのる、めんこをひっくり返す—どうやって遊ぶのかは、ひとめ見ればわかります。みんなが楽しそうに遊んでいるのを見て、自分も遊んでみようかなという気持ちになってきます。

最初からうまくできる人は少ないかもしれませんが、教えてくれる人がいて、ちょっと練習をしてコツを覚えて、くりかえし遊んでいると、自然にできるようになります。

遊びを広げていける

一つの“遊び”ができるようになると、少

しアレンジを加えることで、“遊び”に変化をつけることができます。三つ馬にのれるようになったら、はやく歩く、どこまで行けるかきそうなど、ちょっとした決まりを加えるだけで、遊びが変わり、広がっていきます。わかりやすい“昔遊び(伝承遊び)”だから、できることなのかもしれません。おもしろさの秘密の一つです。

遊び方を追い求めていける

こまなどの“昔遊び(伝承遊び)”は、何回かくりかえしているうちに、だんだんうまくなっていきます。“できるようになったこと”で、ちょっとうれしくなります。さらにくりかえし遊んでいると、最初はできないと思っていた、難しいこともできるようになります。こどももちょっと、うれしくなります。

いろいろなことができるようになると、もっといろいろなことがしたくなります。遊び方を工夫したり、くりかえし練習したり—いろいろな遊び方を追い求めていけるのも、おもしろさの秘密かもしれません。

だれもが楽しめるように遊び方を工夫

「いろはカルタ」「百人一首」など、いろいろなカルタがあります。上の句を読んでいるうちに、ひらがなの文字だけが書かれた取り札を取る「百人一首」は、小さい子どもには少し難しい遊びです。しかし、人物がえがかれている読み札を使った「ぼうずめくり」なら、小さい子どもから楽しめます。

[こどもの城]では、たくさん子どもたちが出入りしています。そこで、いつでも仲間に加われる「ぼうずめくり」を考えました。3組の読み札300枚を数組の山にして、中央に置きます。ふつうのルールで「ぼうずめくり」をするのですが、10枚たまらなると抜けることができません。もちろん続けるのは自由です。抜けた人の札は、山にもどしていきます。

「いろはカルタ」の遊び方も工夫しました。手作りの「いろはカルタ」を用意して、広い場所に数組の取り札をまきます。たくさん子どもたちで、カルタ取りを始めます。同じ取り札がたくさんあるので、カルタ取りのような、宝さがしゲームのような展開になります。

〈あそび〉のおもしろさがつまっている

長年にわたって親しまれてきた“昔遊び(伝承遊び)”には、〈あそび〉のおもしろさがつまっています。だから、ハイテクなおもちゃに囲まれて育った今の子どもたちも、“昔遊び(伝承遊び)”にひかれるのだと思います。多くの子どもたちに“昔遊び(伝承遊び)”のおもしろさ、楽しさを知ってほしいと思います。



冬休み はじめてGo! Go! こどもの城



2009-2010 冬休み特別期間 12月26日(土)～1月7日(木)

※12月29日～1月2日、1月9日～12日は 休館中ですのでお休みです。
開館時間 10:00～17:30 ※1月9日は12:30～、入館料17:00まで
入館料 ◆こども400円(3歳以上18歳未満) ◆おとな500円



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE FUJITSU

夢をかたちに。

私たちはいつだって、未来に向かってすすんでいます。だからいま、未来に向けてついています。自由と安心に満ちたITサービスと、心をつなげるネットワーク。そして、美しい地球を守っていく仕組み。すべての夢を、かたちにするために。富士通は、挑みつづけます。

夢をかたちに



11月15日は「家族の日」。こどもの城ファミリー月間プログラム「ほかほか広場 お父さんスペシャル」が開かれ、3か月～2歳11か月の乳幼児とお父さん・お母さんが保育室でのんびりと過ごしたり、スタッフが紹介する遊びを楽しんだりしました。参加24家族、59人。

「ファミリーアドベンチャー2009 江の島アドベンチャー～島の龍神伝説を解き明かせ!～」が10月25日に行われ、11家族35人が参加。湘南の潮風を感じながら、島内巡りをしました。次回は、3月14日に、春をさがす「マイクロアドベンチャー」を予定(詳細次号)。



木の葉を楽器にして美しいメロディーをかなでる「わいわいスタジオ～みんなで楽しむ草笛コンサート」が11月15日に開催されました。体験コーナーでは、「巻き草笛」という草笛の作り方を教わり、わいわい草笛団のみなさんとの合奏も楽しみました。

「全国児童館おりがみ作品展」が、10月31日～11月23日にギャラリーで開かれ、各地の児童館・児童センターの子どもたちが作った折り紙作品26点(立体13点、壁面13点)、写真で参加する作品5点が展示されました。



(こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス

クリスマスペンダントをつくらう /12月1～25日/パソコンルーム

パソコンの画面で色やイラストなどの配置を確かめながら、私だけの「クリスマスペンダント」をデザインします。

平日:14時～/土・日曜日、祝日:10時～

サタデーポラトリー /12月5、19日/プレイホール

モアレにチャレンジ /12月5日

モアレ(光の干渉)を利用した、ゆらゆら動くクリスマスカード作り。

ニットに挑戦! /12月19日

手作り編み機で「ベル鈴(リン)」(写真上)を作ります。

マックローとあそぼう クリスマス広場 /12月23日/プレイホール

ボランティアのお兄さん・お姉さんと、マックロークイズ(13時と16時)やパネルシアター(14時30分)で遊びます。

ハンガリーのクリスマス /11月28日～12月13日/ギャラリー

絵本「キップコップ」シリーズなどで人気のマレーク・ペロニカさんの原画や初版本などを中心にした展示。

【ギャラリープログラム】(入館券のみ)

マレークさんとあそぼう:12月6、12日(11時)

ミクラージュ(ハンガリーのサンタクロース)がやってくる:12月6日(16時)

ビデオライブラリーのクリスマス /12月8～25日

ZOOっとツリーをつくらう

「ZOOっと広場」で、折り紙ツリーを作ります。

*12月8～11、15～18、22日

ゲゲゲでクリスマス みんなでかざろう!ぬりかべツリー

「ぬりかべ」をクリスマスらしく飾り付け。

*12月12、13、19、20、23～25日

(こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス (こどもの城)のクリスマス

みんなでつくる!!新世界 チキチキドールツチャワールド(平成22年1月23・24日)

企画・運営する「ドルッチャチーム」の活動始まる

平成22年1月23・24日に行われる「みんなでつくる!!新世界 チキチキドールツチャワールド」は、子どもたちと、スタッフ・ボランティアが力をあわせて作る「新しい遊びの世界=ドルッチャワールド」で、みんなで一緒に遊んじゃおうというプログラム。

このプログラムの企画・運営を担当する子どもたちの「ドルッチャチーム」の活動がこのほどスタートしました。集まったのは、小学生35人、中学生14人。力をあわせてプログラム作りを進めていきます。「ドルッチャチーム」の全体ミー

ティングを前に、リーダー的な役割を果たす中高生が集まって、第1回のミーティングを11月8日に行いました(写真)。初めての顔合わせなので、まずゲームをとおして「互いを知る」ことから始めました。会話ははずむようになった後半は、「小学生とかかわるなかで、中高生として大事にしていきたいこと」をテーマに意見をだしあいました。「小学生のまとめ役」となって「ドルッチャチーム」の活動を進



こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ

タントさんのふしぎなレストラン タントさんといじわるいもむし

平成22年1月3～10日 青山円形劇場

いきいきとした舞台にふれて、想像力や感性をはぐくむ物語のなかで夢見ることのすばらしさや、愛することの大切さを知ってもらえるように、そして心の豊かさを得られるように—そんな願いを込めて作品作りを続けている「こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ」。22回目を迎えた今回は、「タントさんのふしぎなレストラン」シリーズ第4弾「タントさんといじわるいもむし」。平成22年1月3～10日に青山円形劇場で上演されます。

孫娘の「むすび」、そして野菜の国の住人たちが巻き起こすファンタジー。青山円形劇場の「円形」という特色を生かして、客席と舞台の距離をなくし、一緒に歌ったり、芝居に参加したりする、楽しさいっぱいのステージがくりひろげられます。

しよう!みんなが言葉を取り戻して、いつもの楽しい野菜の国にもどれるでしょうか?

■青山劇場 ☎03-3797-5678 <http://www.aoyama.org>

青山劇場

●前座特別公演「法然と親鸞」
▽11月15日～12月15日A席=11,000円、B席=5,000円、C席=3,000円(問)0422-49-2811

●アニメクリスマスコンサート
▽12月19・20日▽S席=5,800円、A席=4,800円(問)03-3498-9999

●チャリティコンサート デュクエイセス&片洋子 愛唱歌でつづる昭和のうた
▽12月21日▽5,000円(問)03-3552-0581

●Dance Noel 2009「クリスマスの贈り物」
▽12月23日▽一階席=4,000円、二階席=3,500円(問)042-572-9029

●サクラ大戦巴里花組ライブ2009～燃え上がれ自由の翼



公演は、平成22年1月3～10日(11時と14時30分。3日は14時30分、7日は11時の回のみ。8日は休演)。料金は2,800円(自由席定員制。3歳以上均一料金)。

青山円形劇場

●花岡健平
▽12月3日▽5,000円(問)03-3479-2245

●青山円形劇場プロデュース「おしゃべりなレストラン～ア・ラ・カルト リニューアルオープン準備中～」
▽12月8～25日▽6,000円(問)03-3797-5678

●第22回こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ「タントさんのふしぎなレストラン～タントさんといじわるいもむし～」
▽平成22年1月3～10日▽2,800円(問)03-3797-5678

●中西俊博コンサートLeapingbow 2010「Reel's Trip」
▽1月30・31日▽6,000円(問)03-3797-5678

1月20～22日にこどもの城児童厚生員等実技指導講習会

こどもの城となかまたち

厚生員等実技指導講習会が、平成22年1月20～22日に「こどもの城」で開かれます。児童厚生員等の指導職員および行事などの企画担当職員を対象とした講習会。今回のテーマは、「今の子どもを徹底研究!～これからの活動を考えるために～」です。

進めていくための準備をしました。「(初めて会った小学生が)話しやすい雰囲気を作る」「小学生と目線をあわせて話す」「小学生の間ではやっていることを話題にして話す」「自分から積極的に話していく」など、中高生の役割を自覚した意見が出されました。

「おそなえ餅づくり～年末にお餅つき～」を12月26日に

家族で「ミニおそなえ餅」を作ります

お正月をひかえて、特別プログラム「おそなえ餅づくり～年末にお餅つき～」が、12月26日に開かれます。もち米をふかし、臼に移し、杵でついて餅にします。つきあがった餅は、まだ熱いうちに手で丸くまとめて形を整えていき、おそなえ餅にします。

12月11日11時から電話で先着順に受け付け

「おそなえ餅づくり」は、10時15分、13時、15時の3回。各回の定員は20組。1家族でミニおそなえ餅を1組を作り、持ち帰ることができます。参加費は、入館券のほかに1家族1,000円(材料費・プログラム費)です。打ち粉をしながら、形を整えるので、エプロンと髪の毛をとめるバンダナ、持ち帰り用の袋などをご用意ください。

受け付けは、12月4日の12時から。電話で先着順に行います。お申し込み・お問い合わせは、企画研修部(03-3797-5675)まで。

「おそなえ餅づくり」を12月26日に

家族で「ミニおそなえ餅」を作ります

「おそなえ餅づくり」は、10時15分、13時、15時の3回。各回の定員は20組。1家族でミニおそなえ餅を1組を作り、持ち帰ることができます。参加費は、入館券のほかに1家族1,000円(材料費・プログラム費)です。打ち粉をしながら、形を整えるので、エプロンと髪の毛をとめるバンダナ、持ち帰り用の袋などをご用意ください。

家庭支援の理論と実際～家族を支えるために～

保護者理解の第一歩「聴く」を学びました

第3回は平成22年1月16日に「保育士の立場で支えるために」

「家庭支援の理論と実際～家族を支えるために～」の平成21年度第2回が「保護者の声に耳を傾ける～全ての保護者に寄り添うには、実践例を通して～」が、10月24日に開かれました。講師は、社会福祉法人太陽会太陽保育園の鈴木恵子園長。親とともに歩む保育士をめざして、保護者を理解するための第一歩となる「聴く」を中心に講義と実践練習(ロールプレイ)を行いました。

最初に、保育のさまざまな事例から問題点を整理して、どのように家庭支援に取り組んでいけばよいかを講義。よい関係を作るために、「聴く」「話す」「感じる」を学ぶ実践練習(ロールプレイ)。聴き手、話し手、アドバイザーの3つの役割を

2009年ありがとうございました。

今年1年、さまざまな形で「こどもの城」を支えてくださったみなさまに、紙面を借りて御礼申し上げます。来年もよろしくお祈りします。なお、勝手ながら新年のご挨拶状を省かせていただきます。悪しからずご了承ください。

2009年(平成21年)12月 (財)児童育成協会 こどもの城 *12月29日～1月2日と1月8・12・13日は休館させていただきます。

12月3日から受け付け開始!

1月から始まる「こどもの城」の講座・クラブ受講生募集

詳細は、総合案内講座・クラブ係へ ☎03-3797-5666

プレイホールの催し

みんなのにこにこ広場

ボランティアによる人形劇、影絵、紙芝居の上演。手遊び、歌遊びも。

おりがみあそび広場

女性ボランティアと折り紙遊び。12月には「食べもの」。24日はお正月にむけた作品。

おはなし人形広場

人形劇による公演。演じる人の息づかいが伝わってくる「生の人形劇」を親子で。月1～2回、日曜日にプレイホールで。

おもしろビデオ館

親子で楽しむ「ミニビデオシアター」。2～4歳向けの幼児向け作品を選んで上映。